

記念すべき第1回は  
香港にて開催。

アジア各国代表25名が  
香港で初顔合わせ

「ピアノ指導者団体の国際ネットワークを作りませんか?」——ピティナが発起人となり、アジア初となるピアノ指導者団体連絡会の第1回会合が香港にて開催された(2013年11月13・14日)。集まったのは9か国16団体の代表者25名。



## 特別レポート

# ピアノ指導者団体の 国際ネットワーク(IFPS) アジアで初発足!

昨年11月中旬、アジア初となるピアノ指導者団体連絡会の第1回会合が香港にて開催された。発起人はピティナ。新しいピアノ指導者団体の国際ネットワークは、今後どのように発展していくだろうか。(取材・文:菅野恵理子)

和やかな雰囲気の中、福田成康専務理事による開会の挨拶から始まった。クラシック音楽はアジア各国それぞれのやり方で普及・発展してきたが、ピアノ教育者が国を超えて繋がることで、お互いさらなる発展につなげましょう、と会の主旨が述べられた。続いて国別に自己紹介と活動内容が発表され

た。フィリピン(ピアノ指導者ギルド)による全国普及化への取り組み、モンゴル(国立モンゴル音楽舞踊学校のカリキュラムについて)、中国(天津国際アマチュアコンクール、上海のe・c o m p e t i t i o n やアマチュア音楽検定の紹介)、香港(香港アカデミー・オブ・パフォーミングアーツのジュニアコース紹介)、インドネシア(スラバヤ音楽協会の月1回会合、国レベルでの組織化の必要性について)、シンガポール(シンガポール音楽指導者協会による演奏者のためのフェスティバル)、日本(ピティナの活動紹介)、

日本・神戸(中国国際音楽コンクールの紹介)、米LA(MTNAカルフオルニア支部の活動)、カナダ(※ゲストとして王立音楽検定の学習システム紹介)等。また今回、多くの方にお声掛けして連絡会開催の後押しをして下さった篠原多雅子先生(正会員・香港在住)は、「ピアノ指導法の改革」について発表。ピアノを通して人間教育を心がけること、ピアノを弾くための正しい姿勢を心がけること、身体と感覚が繋がっていることなど、日本人研究者による科学的検証例なども盛り込みながら各国指導者に問いかけ

(写真下) 香港名所のヴィクトリア・ピーク

がなされた。

後半のグループディスカッションでは各国の問題意識を共有したり、連絡会の意義や今後の方針が話し合われた。連絡会の名称はInternational Federation of Piano Societies (IFPS)に決定、年一回の連絡会や情報交換を



グループディスカッションの様子

通して各国のピアノ指導レベルを向上させることを目的とし、会員資格はピアノ指導者団体・教育機関代表者・事業主催者(および将来組織化を検討している指導者)であれば参加可能となること等が決まった。

今回出席した各団体代表者は欧米留学経験者がほとんどで、欧米と本国双方の音楽教育を俯瞰する視点と、郷土の若い才能に対する自信と誇りを持っているのが印象的である。その上で自分たちの性質に合った方法でさらに指導力を高めていくにはどうすればよいか、率直な意見交換を求めている。ほとんどが初顔合わせという状況ながら和気あいあいと会は進行し、有意義な交流の場となった。

### 同じ目線に立つ 日本・アジアの指導者たちを 結ぶこと

ではアジア各国のピアノ指導者がネットワークで結ばれることにどんな意味があるのだろうか。ここで一度日本に置き換えて考えてみたい。ピティナではこれまで全国130の支部・連絡所に加えて350のステーションが立ち上げられているが、独立独歩だったピアノ教室同士が交流を始めたことでどれだけの変化が先生方にもたらされただろうか。相手を知ること



各国のプレゼンテーション  
(シンガポール代表ジュリー・タンさん)



発表する篠原多雅子先生。お嬢様の慶子さんが英語・中国語を駆使して、会のファシリテーターを務めて下さった。

より一層の自己研鑽に励んだり、自分が得た経験を他の先生方や地域社会とシェアしたり、共に新しい課題に取り組んだり、それらが結果として指導力アップに繋がっているだろう。

アジア各国のピアノ指導者も、それぞれ音楽を学び、次世代に伝え、地域の発展に貢献する中で、日本の指導者と同じような問題意識や関心を持っていると感じた。同じような目線に立つ先生同士が繋がれば、情報だけでなく、体験の

共有や学び合う機会も増えるだろう。日本にも多くの知恵やノウハウの積み重ねがある。今回ピティナの発表では(加藤事務局長より)、コンクール・ステップ事業・指導者育成プログラムなどが紹介されたが、中でも「ingプログラム」指導者パスポートなどの継続的学習プログラムの他国が反応していたのが印象的だった。

自らの潜在能力を開花させ、お互いに知恵を出し合いながら結ばれる新たな絆は、アジアだけでなく世界的に見ても、クラシック音楽をより発展させていくための力になるだろう。次回IFPS連絡会は2014年8月23日に東京で開催予定(ピティナ・ピアノコンペティション表彰式翌日)。アジア各国のピアノ指導者代表と交流を深めるのはいかがだろうか。